施工説明書

INAX

ほっとエクスプレス（即湯システム）　EG-2S2、EG-2S2(2P)

商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。この説明書は、施工完了後、お客さまにお渡しください。

■施工時には必ずお守りください。
以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

施工の用語の説明

- 警告　作業を誤った場合に、設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
- 注意　施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

記号の説明

- 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
- 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
- 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
- 「必ずアース接続をしなさい！」

警告

- ○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
  ○電源コード・プラグの変更、改造、分解は絶対に行わないでください。
  ※感電や火災の原因となります。
- ○電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
  ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
- ○屋外には設置しないでください。
  ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
  ※故障や感電の原因となります。
- ○機器用に設置するコンセントは「アースターミナル付接地極付コンセント」をご使用ください。
  ※故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。
- ○アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるＤ種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
  また漏電遮断器を設置してください。
  ※故障や漏電時に感電の恐れがあります。
- ○この機器はＡＣ１００Ｖ　３６０Ｗの電力を消費します。
  必ず適した配線をしてください。また、２００Ｖに接続しないでください。
  ※火災の原因となります。
- ○水道水（水道事業体が供給する上水）以外の水を使用しないでください。
  ※早期に機器が破損し、感電・火災の原因となります。

注意

- ○機器内のタンクが満水になっていない場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。
  ○給湯機器は 80°Cを超える設定温度にしないでください。
  ○機器を傾けたり、横にしたり、上下を逆さにした状態で設置しないでください。
  ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
- ○この機器は車両、船舶での使用はできません。
  ※機器の故障だけではなく、漏電、漏水などの恐れがあります。
  ○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。
  ※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
  ○この機器は、給水圧力 0.05～0.75MPa の範囲でご使用ください。
  ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。
- ○必ず給湯配管に接続してください。
  ○給湯機器との配管長さは最大 18m（15A 配管）、9m（20A 配管）までとしてください。
  ※湯切れする恐れがあります。
- ○水栓への接続は 1 か所だけにしてください。2 か所以上に接続しないでください。
  ○浴室用水栓に接続しないでください。
  ○この機器を 2 台以上連結させて使用しないでください。
  ※水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりする恐れがあります。
- ○必ず専用の排水器具と組み合わせてください。
  ○膨張水口からの膨張水排水ホースは、確実に配管施工してください。
  ※漏水の恐れがあります。
- ○この機器の周囲温度が氷点下になるところには設置しないでください。
  ※機器やホースが凍結して部品が破損し、漏水の恐れがあります。
  ○単水栓に接続しないでください
  ※ヤケドの恐れがあります。
- ○自動水栓オートマージュｅなど、流量 2.5L/min 以下で使用する水栓金具と組み合わせないでください。
  ※通水時に機器内の空気が抜けず、お湯が出ない恐れがあります。
- ○壁裏、天井裏、床下、点検ができない場所などへ設置しないでください。
  ※日常点検、水抜き、故障時の修理などができなくなる恐れがあります。

1. 仕様

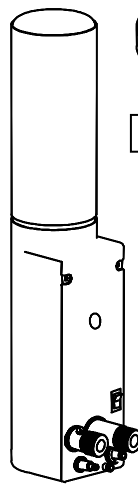
本体品番		EG-2S2	EG-2S2(2P)
外形寸法（幅×奥行き×高さ）		157mm×90mm×350mm	
質量		本体 2.6 kg（満水時約 4.5 kg）	
機器使用水圧範囲		0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）	
減圧弁設定圧力		0.25MPa	
過圧逃し弁設定圧力		吹き始め：0.9MPa　吹き止り：0.7MPa	
電源コード長さ		接地極付タイプ有効長さ 1.5m	アース線タイプ有効長さ 1.5m
電気定格	定格電圧	単相 100V　50/60Hz	
	消費電力	360W	
タンク容量		約 1.9L	
出湯温度		約 38°C～給湯機器設定温度　（※）	
保温温度		約 80°C	
沸きあがり時間		約 25 分　（15°C→80°C）	
発熱体		シーズヒーター	
自動温度調節器		バイメタル方式（自動復帰式）	
温度過昇防止器		バイメタル方式（手動復帰式）	
使用可能雰囲気温度		0～40°C　（凍結の恐れのないこと）	

※タンク内のお湯と給湯配管に残った冷水を混合して出湯します。給湯配管内の冷水を消費し、給湯機器からお湯がくると、自動的に切替え、給湯機器のお湯がでます。

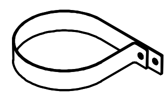
2. 同梱品・別梱包一覧

■施工前に同梱部品を確認してください。

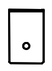
本体



固定金具上



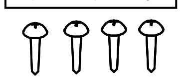
固定金具下



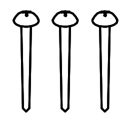
固定用ねじ A（4×8）：1 本



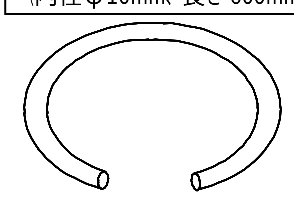
固定用ねじ B（4×10）：4 本



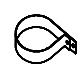
固定用ねじ C（4×40）：3 本



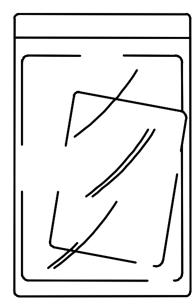
ビニールホース（内径φ10mm、長さ 600mm）



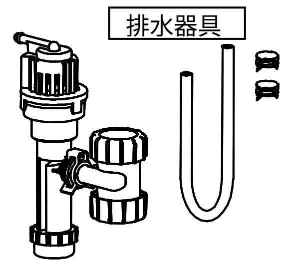
ホースクランプ



説明書セット



【別梱品】
排水器具

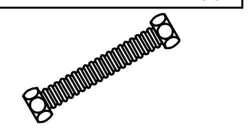


セット品番によって種類が異なります。（図はカウンター設置用）
排水器具の説明書をご覧ください。

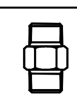
INAX製化粧台即湯システムセット品の同梱品

※INAX製化粧台即湯システムセット品の場合、下記の部品を化粧台側に同梱している場合があります。

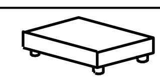
ステンレスフレキシブル管



ニップル（G1/2）



受け台（カラクリスライドタイプのみ）

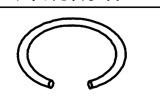
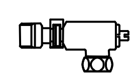
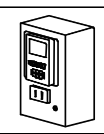


■セット品の内容

品番	備考
EG-2S2-S、EG-2S2(2P)-S	EFH-4-EG　（※）：洗面カウンター用、洗面化粧台用（直管タイプの主排水管の場合）
EG-2S2-K、EG-2S2(2P)-K	EFH-4K-EG　（※）：洗面化粧台用
EG-2S2-MK 、EG-2S2(2P)-MK	EFH-4MK-EG　（※）：キッチン用（排水接続径 2 インチ用）
EG-2S2-MK-1H2、EG-2S2(2P)-MK-1H2	EFH-4MK-1H2 -EG　（※）：キッチン用（排水接続径 1.5 インチ用）
EG-2S2-MK-AS、EG-2S2(2P)-MK-AS	EFH-4MK-AS-EG　（※）：キッチン用（排水接続径 2 インチ横引きわん形トラップ用）

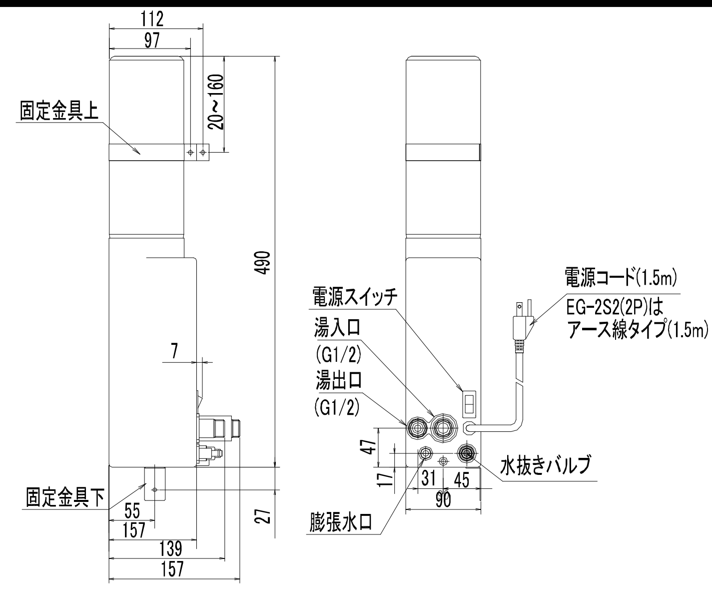
※「-EG」品：排水ホース長さ 800mm

3. 別売品一覧

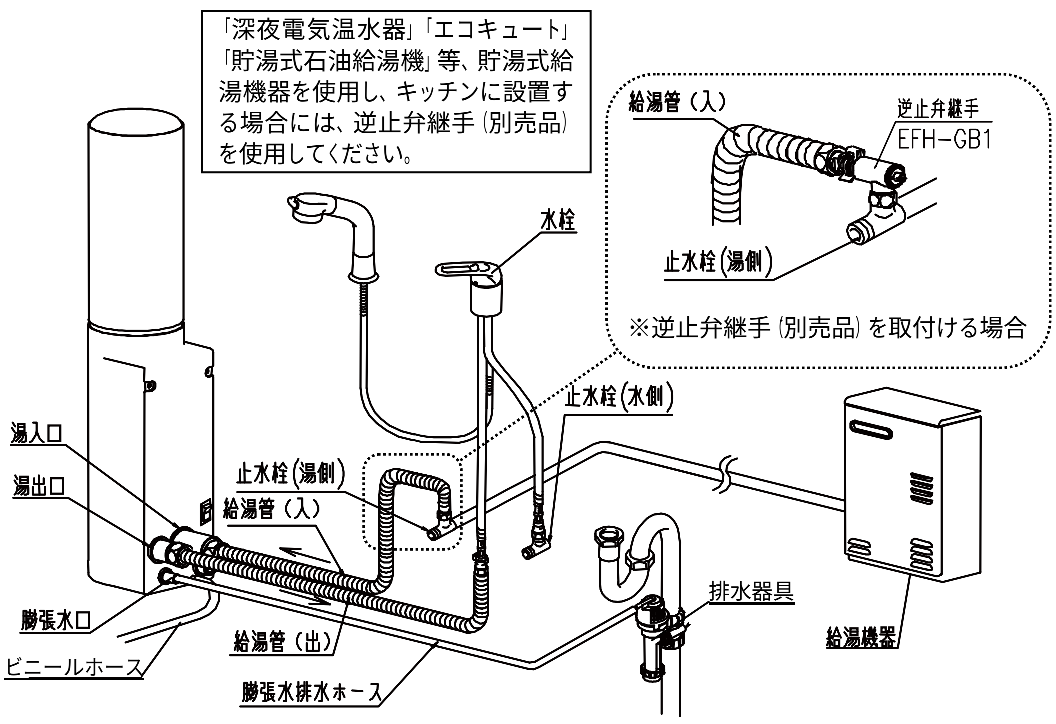
品名	品番	備考	外観概略	
膨張水排水ホース	EFH-1M	内径φ7mm×1m 排水器具に付属のホースで長さが不足する場合に使用します。		
逆止弁継手	EFH-GB1	「深夜電気温水器」「エコキュート」「貯湯式石油給湯機」等、貯湯式給湯機器を使用し、キッチンに設置する場合に使用します。		
ウィークリータイマー	EFH-TM4	電気温水器へ通電する時間を設定する場合に使用します。	EG-2S2 の場合	
	EFH-TM2		EG-2S2(2P)の場合	

その他現場での調達品
・ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径 13mm)、止水栓、1/2B パッキン、ニップル

4. 寸法図

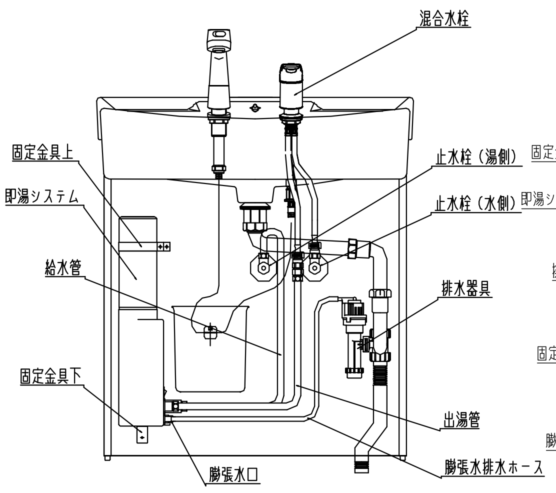


5. 配管参考図

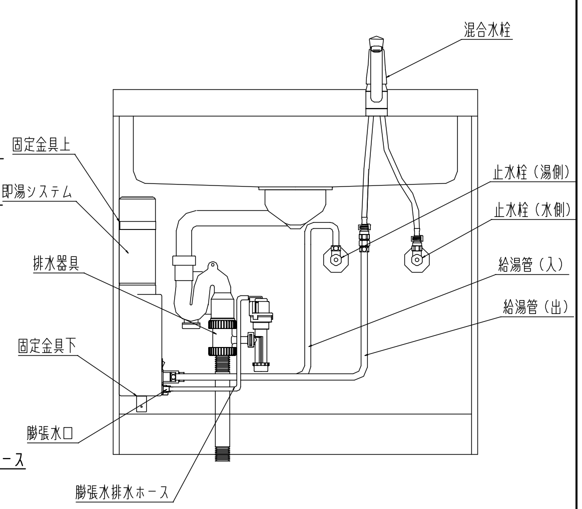


6. 標準施工図例

⑴ 化粧台とのセット例



⑵ キッチンとのセット例



7. 取付け手順

※INAX製化粧台とセットする際、即湯システムの設置スペースを確保するために、標準化粧台と給排水位置を変更する必要がある場合があります。別紙**「INAX 製化粧台・キッチンへの取付条件」**をご確認のうえ、所定の位置に給排水管が取り出してあることを確認してください。

※即湯システムを取り付ける前に、水栓金具本体を水栓金具の施工説明書に従って、化粧台やキッチンに取り付けてください。

7－1. 取付準備

⑴ 取付空間の確認

本体の取付けには、下記の空間が必要となります。

幅	奥行き	高さ
200mm	92mm	530mm

※排水器具の取付条件は、排水器具の説明書をご確認ください。

※INAX 製化粧台の場合、壁排水タイプへの設置、システムマーベリイナ i ドレッサーのシャワー水栓タイプへの設置ができません。

※INAX 製キッチンの場合、アルカリイオン整水器・ビルトイン型浄水器専用水栓との併設、フットスイッチとの併設、配管スペース付タイプへの設置、シンク下食洗機タイプへの設置、ベーススライド付開き戸タイプへの設置ができません。

⑵ 取付強度の確認

※この機器は、満水時の質量が約 4.5kg になります。取付強度が十分にあることを確認して、取付位置を決めてください。

（乾式壁の場合）

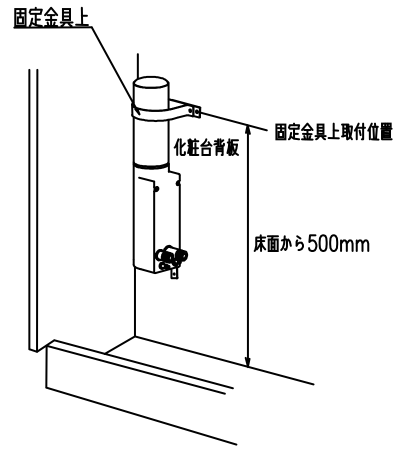
即湯システムの固定金具上を取り付ける位置に、厚さ 30mm 以上、幅 90mm 以上の補強木が入っていることを確認してください。

（湿式壁の場合）

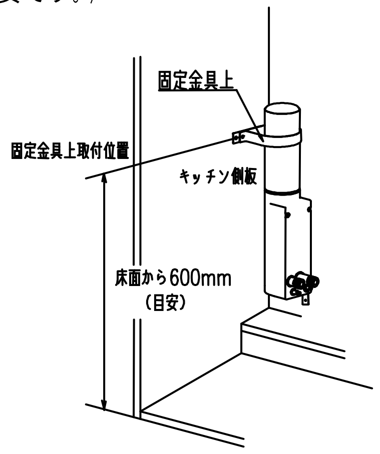
同梱の固定用ねじ C（呼び径 4mm　長さ 40mm）にあったプラグを用意してください。

※INAX 製化粧台（カラクリスライドタイプ除く）の場合、床から 500mm の高さの背板（裏に補強木のある位置）に固定金具上を取り付けてください。カラクリスライドタイプの場合は床から 400mm の高さの背板（裏に補強木のある位置）に固定金具上を取り付けてください。

※INAX 製キッチンの場合、側板に固定金具上を取り付けてください。
（固定金具上の取付位置は床から 600mm が目安です。）



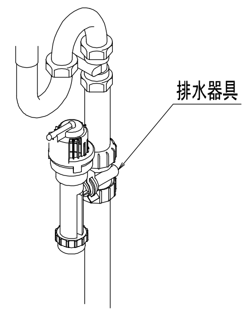
INAX 製化粧台の場合



INAX 製キッチンの場合

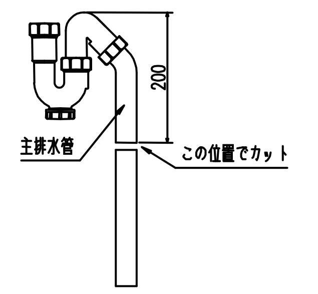
⑶ 排水器具の取付け

この機器は、ヒーター通電中に膨張水が出ます。同送の排水器具を用い、排水器具同梱の施工説明書に従って取り付けます。



※INAX製化粧台「壁/床抜き兼用トラップ（マルチトラップ）付属タイプ」の場合

下記の寸法で主排水管をカットしてください。



○排水器具は、各部から漏れの無いよう確実に取り付けてください。
※漏水の恐れがあります

7－2. 即湯システムの固定

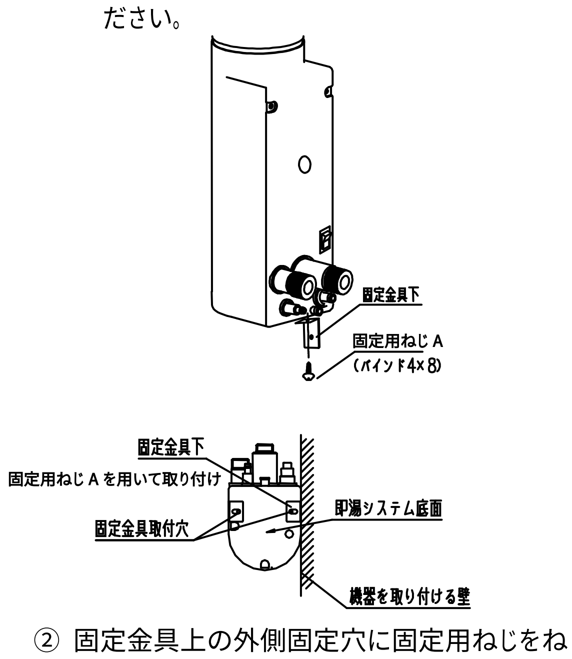
※機器の水抜きバルブを操作するスペースを確保するために、即湯システムを床から離して設置してください。

① 同梱の固定用ねじA（バインド　4×8mm）を用いて、即湯システムの底面にある固定金具取付穴に固定金具下を取り付けます。

※機器を取り付ける壁側に固定金具がくるように、取り付けてください。

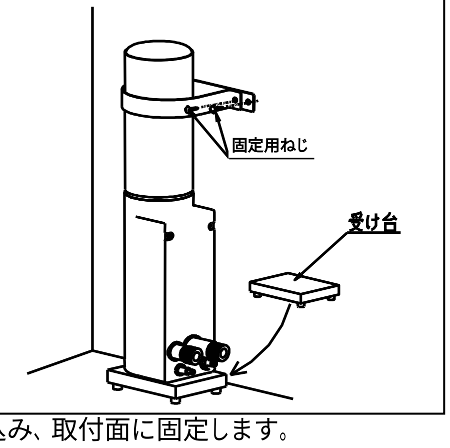
※INAX 製化粧台「カラクリスライドタイプ」の場合、固定金具下の取付けは不要です。

※INAX 製化粧台「オフト FTXN-605S」の場合、固定金具下の取付けは不要です。別紙**「INAX 製化粧台・キッチンへの取付条件」**をご確認のうえ、所定の位置に取り付けてください。



※INAX 製化粧台「カラクリスライドタイプ」の場合

化粧台同梱の受け台の上に本体を載せ、固定金具上を固定してください。（固定金具下は使用しません。）



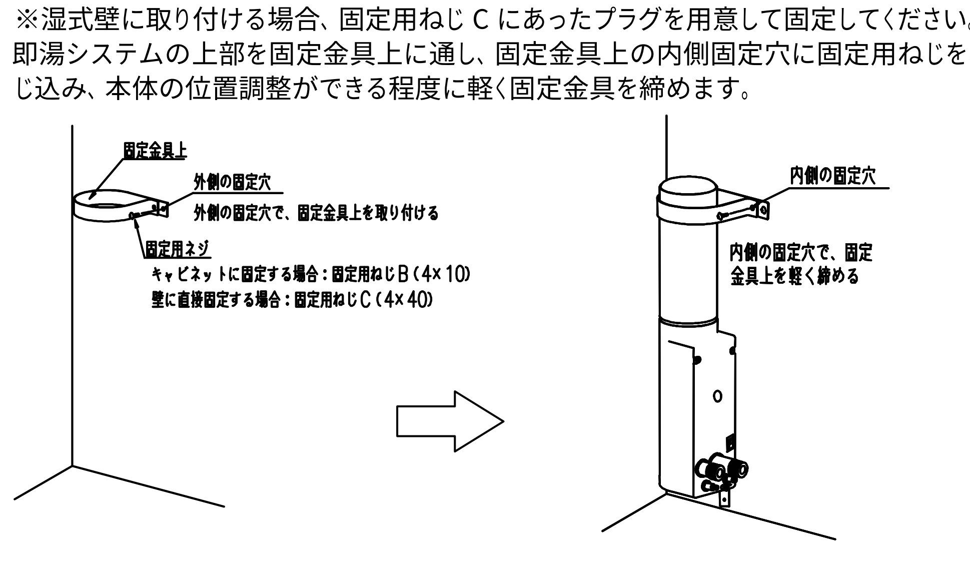
② 固定金具上の外側固定穴に固定用ねじをねじ込み、取付面に固定します。

※「7－1. ⑵ 取付強度の確認」で確認した位置に固定してください。

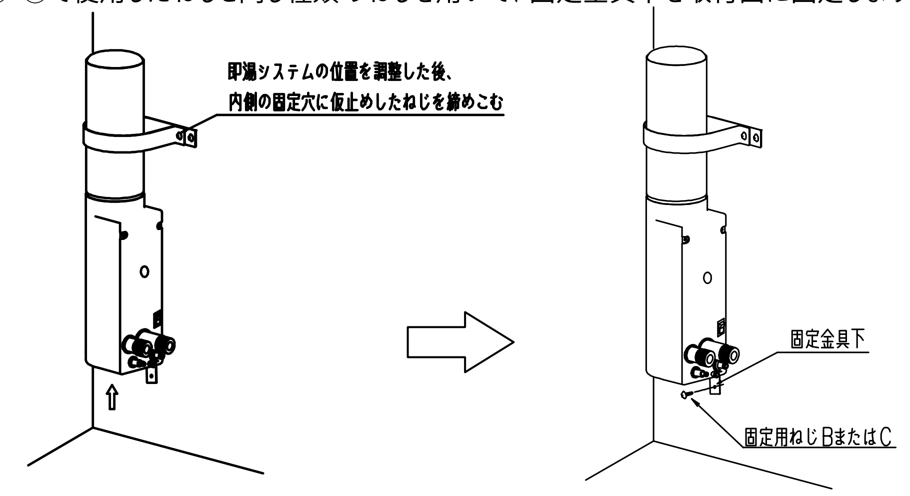
※キャビネットに固定する場合は、同梱の固定用ねじ B（トラス　4×10mm）を用いてください。カウンター下に設置する場合など、壁に直接取り付ける場合は、同梱の固定用ねじ C（トラス 4×40mm）を用いてください。

※湿式壁に取り付ける場合、固定用ねじ C にあったプラグを用意して固定してください。

③ 即湯システムの上部を固定金具上に通し、固定金具上の内側固定穴に固定用ねじをねじ込み、本体の位置調整ができる程度に軽く固定金具を締めます。

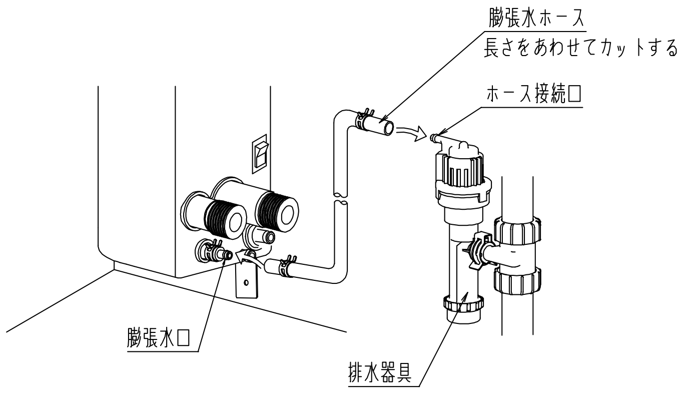


④ 即湯システムの位置を調整し、固定金具上の内側固定穴に止めたねじを締めこんで、即湯システムを固定します。
⑤ ②で使用したねじと同じ種類のねじを用いて、固定金具下を取付面に固定します。



7－3. 膨張水排水ホースの取付け

① 即湯システムの膨張水口に膨張水排水ホース（排水器具同梱品、内径φ7mm）を差し込み、ホースクリップで固定します。
② 膨張水排水ホースを適切な長さ（突っ張らない程度）にカットし、ホース接続口に差し込んでホースクリップで固定します。
※排水器具同梱の膨張水排水ホース（内径φ7mm、長さ 800mm）で届かない場合は、別売のホース（品番：EFH-1M、内径φ7mm、長さ 1000mm ）に取り替えて接続してください。
※膨張水排水ホースは 1m 以内としてください。
※排水器具のホースの接続口が逃し弁より高い位置にあっても膨張水の排水に影響ありません。



7－4. 機器への配管

※機器への配管は「**5. 配管参考図**」も参考にしてください。
※機器への配管には、市販のステンレスフレキシブル管（1/2B：呼び径 13mm）を使用してください。（INAX 製化粧台即湯システムセット品の場合は化粧台側にステンレスフレキシブル管を同梱しています。）
※機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。
※機器を接続する前に、20L 程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。

○この機器は 0.75MPa を超える高水圧地域では使用しないでください。
※機器が故障し漏水の恐れがあります。

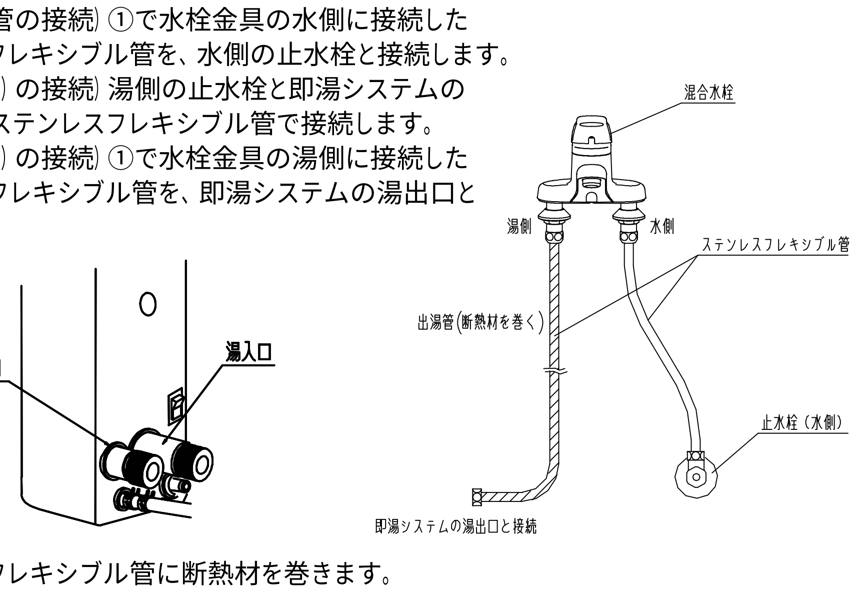
○機器を接続する前に、20L 程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。
※機器にゴミが進入し、故障の恐れがあります。

○ステンレスフレキシブル管の接続部には必ず耐熱のシートパッキンを使用して接続してください。
※漏水の恐れがあります。

○即湯システムの湯入口と湯出口を逆に接続しないでください。
※高温の湯が出て、ヤケドの恐れがあります。

＜接続管のついていない混合水栓（ツーホール混合水栓等）に取り付ける場合＞

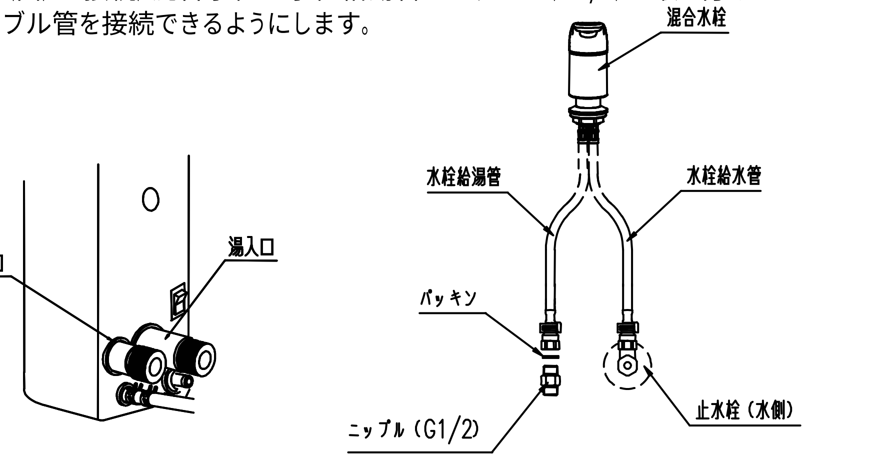
① ステンレスフレキシブル管を、水栓金具の水側および湯側に接続します。
② （水栓給水管の接続）①で水栓金具の水側に接続したステンレスフレキシブル管を、水側の止水栓と接続します。
③ （給湯管（入）の接続）湯側の止水栓と即湯システムの湯入口を、ステンレスフレキシブル管で接続します。
④ （給湯管（出）の接続）①で水栓金具の湯側に接続したステンレスフレキシブル管を、即湯システムの湯出口と接続します。



⑤ ステンレスフレキシブル管に断熱材を巻きます。
※ステンレスフレキシブル管には給湯機器からのお湯が通ります。即湯システムの電源スイッチを操作する場合やキャビネット内の収納物を取り出す際などにヤケドをしないよう、断熱材を巻いてください。

＜ホース付水栓（ワンホールシングルレバー混合水栓等）に取り付ける場合＞

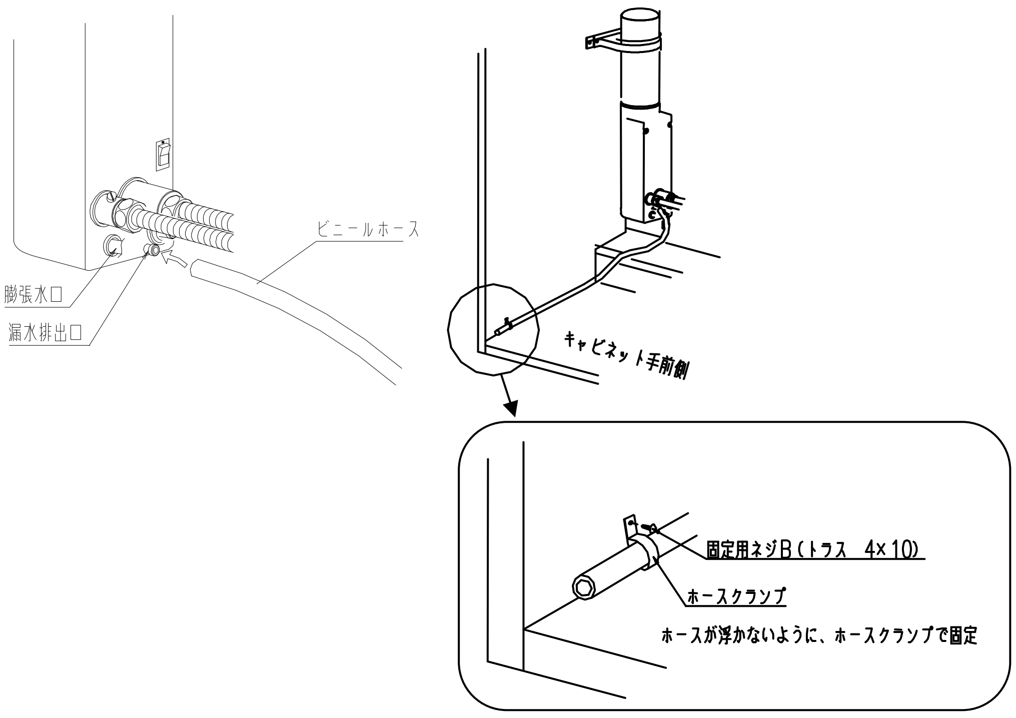
※シャワー水栓の場合など水受けトレイがある場合は、水受けトレイの取り外しができるようにトレイの下側にステンレスフレキシブル管を通してください。
① （水栓給水管の接続）混合水栓の水栓給水管を水側の止水栓と接続します。
② （給湯管（入）の接続）湯側の止水栓と即湯システムの湯入口を、ステンレスフレキシブル管で接続します。
③ （給湯管（出）の接続）混合水栓の水栓給湯管にニップル（G1/2）を取り付け、ステンレスフレキシブル管を接続できるようにします。



④ 即湯システムの湯出口と③で取り付けたニップルを、ステンレスフレキシブル管で接続します。
⑤ ステンレスフレキシブル管に断熱材を巻きます。
※ステンレスフレキシブル管には給湯機器からのお湯が通ります。即湯システムの電源スイッチを操作する場合やキャビネット内の収納物を取り出す際などにヤケドをしないよう、断熱材を巻いてください。

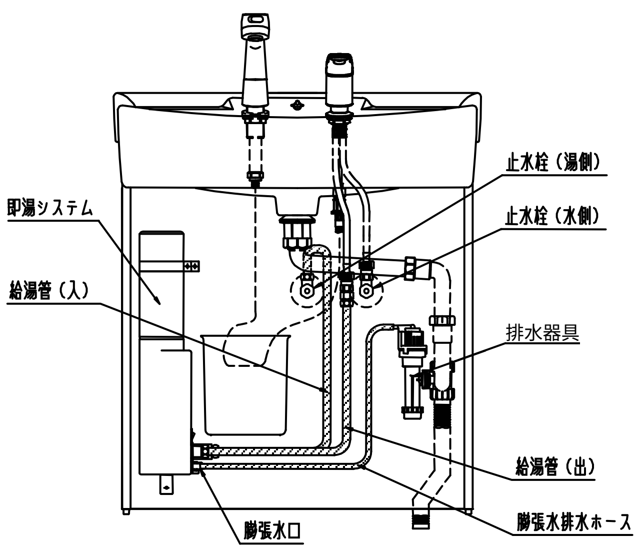
7－5. 漏水排出口の接続（漏水の早期発見による拡大被害防止）

万一、機器内部で漏水が発生した場合に、漏水した水を排出する漏水排出口を設けています。同梱のビニールホースを漏水排出口に接続し、ホースのもう片方を漏水が発見しやすい場所（キャビネットの手前側など）に固定します。
※下り勾配になるように取り付けてください。
※ビニールホースは、機器の水抜きをする際にも使用します。



8. 凍結予防

給水管、同圧給水管、膨張水排水ホースには必要に応じて断熱材またはヒーターを巻きます。
（右図の ▨ 部）
室温が 0℃以下になる場所では、試運転のために通水した後、「11. 水抜き方法」にしたがって、本体・排水器具・配管の水抜きを実施してください。機器のスイッチが入っていない場合引渡しまでの間に凍結する恐れがあります。



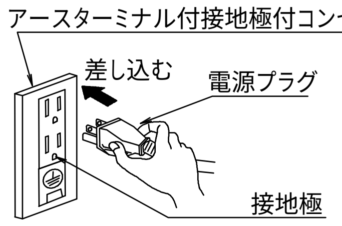
9. 電気工事

○漏電遮断器を必ず設置してください。
○必ずアースを接続してください。
○アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

○200Vには接続しないでください。
○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。
※感電や火災の原因となります。

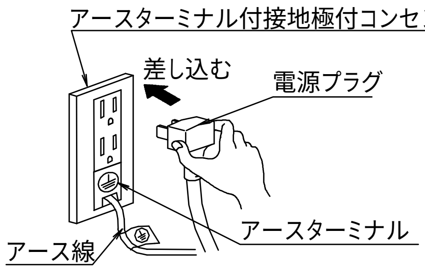
①機器の取付位置より 1.5m 以内の所に、本機器専用に 100V・15A の「アースターミナル付接地極付コンセント」(パナソニック電工製　品番：WTF113239W、WN1132K 推奨) を用意します。
②D 種接地工事が行われたコンセントにアースを接続します。

(A)EG-2S2 の場合

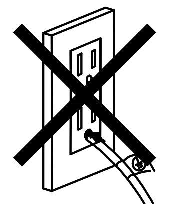


○接地極のないコンセントに接続しないでください。
接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
※故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。

(B) EG-2S2(2P)の場合



○このような接続は絶対に行わないでください。



○アースターミナルのないコンセントには接続しないでください。
すでにアースターミナルのないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。コンセントの付替えが困難な場合は、アースターミナル付変換アダプター(定格125V・15A／参考：松下電工品番WH2881P)を別途ご準備の上接続してください。
※故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。

この機器は 100V/360W の電力を消費します。

10. 施工後の確認・処置

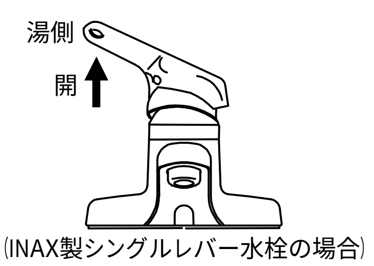
⑴ 排水器具の確認
即湯システムの取付けが完了したら、下記の 3 点確認することにより必ず膨張水排水ホースが接続されていることを確認します。
① 専用の排水器具が取り付けられていること。
② 排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
③ 排水器具と即湯システム膨張水口が確実に接続されていること。

○膨張水口からの膨張水排水ホースが接続されていることを確認してください。
※漏水の恐れがあります。

⑵ 通水確認と流量調整
溢水配管の確認が完了したら、通水確認と流量調整をします。
① 給水・給湯配管が確実に接続されていることを確認します。
② 「**7－4. 機器への配管**」記載の給水配管内のゴミを取る作業を行ったか再度確認します。
※ゴミをまだ取っていない場合はいったん機器を外して水を流し、確実に配管内のゴミを取り除いてください。ゴミが残っていると、機器にゴミが侵入し故障の原因になります。
③ 給湯機器の運転スイッチを切ります。

○必ず、給湯機器の運転スイッチを切って通水してください。
※機器内に水が入らず、空だきとなる恐れがあります。

④ 水栓金具の湯側を全開にした後、湯側止水栓 (本体の湯入口と接続されている側) を開けます。
⑤ 水栓の湯側から水栓から安定して水が出るようになったら (空気を巻き込まずに水が出てきたら)、さらに 5〜6 分流し続けます。



(INAX製シングルレバー水栓の場合)

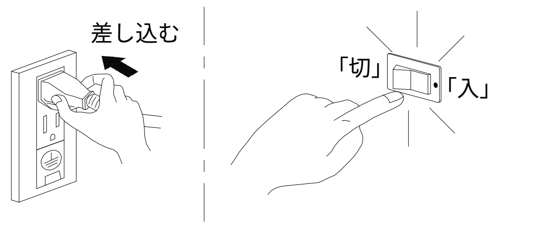


安定した吐水の状態

⑥ 水栓の水側を開いて、水側の止水栓を開き同じように安定して水が出るまで流します。
⑦ 湯側、水側ともに空気が抜けたことを確認したら、洗面器から水がはねたり、オーバーフローしたりしない程度に湯側および水側の止水栓で水量を調節します。調節後、水栓を閉めて配管各部の水漏れがないことを確認します。
※湯側の配管は減圧弁を通るので、水側に比べて水量が少なくなる場合があります。

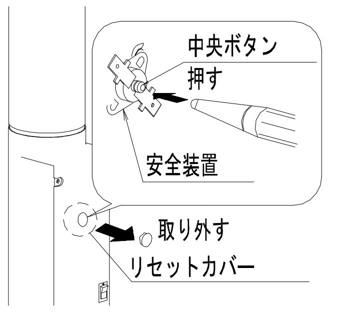
○必ず先に止水栓を閉めてください。
※漏水の恐れがあります。

⑶ 即湯システムの通電
①満水になったことを確認し、電源プラグを確実に差し込みます。
②電源スイッチを「入」にします。
スイッチ部が点灯します。



○機器内のタンクが満水になっていない場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

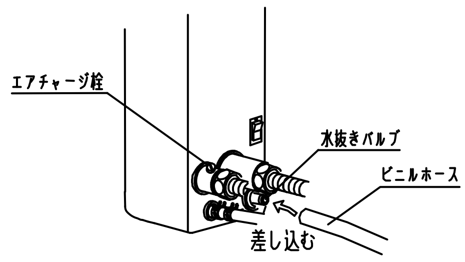
【電源スイッチを「入」にしてもスイッチ部が点灯しない場合】
安全装置である過昇防止バイメタルが作動していることが考えられます。
一旦電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、機器本体右側面のリセットカバーを取り外し、ボールペンの端などで機器内にある安全装置の中央ボタンを押し込んでください。



11. 水抜き方法

施工後、引渡しまでに凍結の恐れがある場合は、以下の要領で機器内の水を抜きます。
※詳しくは**取扱説明書**を参照してください。
※水抜きした状態でお客さまに引渡しをする場合、排水器具の水抜き栓とホッパーカバーの取付け、および**取扱説明書**に記載の再通水が必要なことを必ずお伝えください。
※排水用ビニールホースは捨てずに、必ずお客さまにお渡しください。

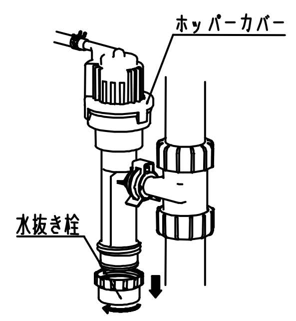
⑴ 機器本体の水抜き
① 電源スイッチを「切」にして、電源差込プラグをコンセントから抜きます。
② 給湯機器の運転スイッチを切ります。
③ 水栓を開け、機器内のお湯を出し切ります。
④ 止水栓を閉めます。
⑤ 水抜きバルブにビニールホース (同梱品) を取り付け、洗面器等で排水した水を受ける準備をします。
※水は約 2 リットル出ますのでバケツ等も用意してください。
⑥ 水抜バルブを開けます。
※手動で左へ 1〜2 回転させてください。固くて回しにくい場合はペンチ等を使用してください。



○必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜きバルブを開けてください。
※高温の湯によりヤケドの恐れがあります。

⑦ 排水をしやすくするために湯出口にあるエアチャージ栓を開けます。
※マイナスドライバー等を利用して左へ 2〜3 回転してください。
⑧ タンク内の水が抜けたら、水抜バルブ、エアチャージ栓を閉めます。

⑵ 排水器具の水抜き
排水器具の水抜き栓をあけて、排水器具内の水を抜きます。
※凍結する恐れのあるときに水を溜めておくと、排水器具を破損させる恐れがあります。
※臭気が気になる場合は不凍液などを封水としてご使用いただくか、ホッパーカバーを取り外して濡れた布などで蓋をしてください。
※再使用する際には、必ず水抜き栓およびホッパーカバーを取り付けてからご使用ください。



12. 施工後の最終確認

全ての作業が完了後、引き渡す前に、下記の表にて最終確認をしてください。

確認項目	確認内容	チェック欄
電源電圧	AC100V 電圧がコンセントに供給されているか	
排水器具	必要別売品の排水器具が施工されているか	
漏水	内部の配管・缶体や配管接続部から漏水がないか	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書とともに、止水栓の開閉金具をお客さまにお渡しください。

お問合せ先
(株)INAX『お客さま相談センター　商品相談窓口』
ナビダイヤル　TEL0570-017173
受付時間　平日　　　9：00〜18：00
土日・祝日　10：00〜18：00
(年末年始・夏季休暇は除く)
※ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などご利用できません。
TEL0562-31-0793 をご利用ください。
ホームページアドレス：http://www. inax. co. jp